



# MESSAGE NOTES

## 嘘をついてもいい場合 なんてあるのでしょうか？

箴言 12:22  
ロイド・フラハティ

神様は、私たちが誠実な人になることを望んでおられます。

### 1. 神様は真実そのものであるからこそ、真実を愛しておられる

箴言 12:22 “偽りの唇は主に忌み嫌われ、真実を行う者は主に喜ばれる。”

神様は嘘を憎まれます。なぜなら、嘘はこれらを破壊するからです。

- 信頼
- 友情
- 結婚
- 教会

質問：私は信頼できる人間になりつつあるのでしょうか？

### 2. 真理は愛と知恵をもって語られなければならない

エペソ人への手紙 4:15 むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するのです。

私たちの目標は、神様の命令に対する例外を見つけることではなく、神様の知恵を求めることです。話す前に、自分自身に問いかけてみてください。「それは本当か？」「それは愛に満ちているか？」「それは賢明か？」

### 3. 神様は、ただ言葉だけの誠実さではなく、心からの誠実さを求めておられる

コロサイ人への手紙 3:9 互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは古い人をその行いとともに脱ぎ捨てて、

神様は完璧な人を求めているわけではありません。神様が求めているのは、誠実な人なのです。

次のような言葉を素直に口にできるようにしましょう：

- 「私が間違っていました」
- 「ミスをしました」
- 「どうか赦してください」

### まとめ

例外を見つけることにこだわらないでください。キリストを映し出す、誠実な人になることに心を向けましょう。失敗したときは：

- 罪を告白する
- 神の赦しを受ける。
- 光の中を歩む。

真実は信頼を築きます。信頼は人間関係を築きます。人間関係は神を映し出します。

「親切は欺きではない」ということを忘れないでください。

- すべてを全員に話す必要はありません。
- 秘密を守ることは、嘘をつくことではありません。
- 時には、黙っているほうが、口を開くよりも賢明なこともあります。
- しかし、自己中心的なごまかしは信頼を破壊してしまいます。